

～プログラム～

令和元年9月28日（土）13:30～

富山県立呉羽高等学校多目的ホール

1. 川島幸子 ソプラノ独唱

G. Verdi 作曲 歌劇《リゴレット》より、“麗しの方の名は”
歌劇《椿姫》より、“花から花へ”

2. 白石禮子 ヴァイオリン独奏

J. Brahms 作曲 F. A. E ソナタより Scherzo
G. Fauré 作曲 Après un rêve

3. 武内俊之 ピアノ独奏

S. Rachmaninov 作曲 Vocalise

4. ブルックス 信雄トーン クラリネット独奏

F. Poulenc 作曲 Sonate pour clarinette et piano 1 楽章

5. 井上圭 トランペット独奏

G. F. Handel 作曲 Aria con Variazione

教員のプロフィール

成木理香（作曲）

愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻を首席で卒業、桑原賞受賞。同大学院修士課程、博士後期課程修了。同大学初の作曲分野での博士号取得。入野賞(1位)、愛知県芸術文化選奨新人賞など多数の受賞歴がある。アメリカの the Asian Cultural Council フェローに選出され招聘を受けてニューヨークに居住しアメリカの現代芸術研究に従事した。クロスジャンルをテーマに作曲を続けており、その作品は世界各国で演奏されている。愛知県立芸術大学准教授。金城学院大学、金沢大学各非常勤講師。

川島幸子（ソプラノ）

東京音楽大学ピアノ科卒業後、ワイマール音楽大学大学院声楽科修了、ドイツ国家演奏家資格取得。第12回チャイコフスキー国際コンクール声楽部門セミファイナリスト、第10回R.ザンドナイ国際オペラコンクールR.ザンドナイ賞。オペラでは『魔笛』夜の女王『後宮からの誘拐』コンスタンツェ『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタ等、ソリストとしてオーケストラとの共演も多く、メディアではBS プレミアム「クラシック倶楽部」、NHK-FM「ベストオブクラシック」に出演。'12年に『R.シュトラウス&ドヴォルジャーク歌曲集』をリリース。愛知県立芸術大学准教授。

白石禮子（ヴァイオリン）

桐朋高校を経てパリ国立高等音楽院及び同大学院首席卒業。13歳で全日本毎日学生音楽コンクール優勝。高校在学中にロン=ティボー国際コンクール最年少入賞、ヴェニエニアフスキ国際コンクール第3位他受賞多数。

13歳で名古屋フィルと協奏曲を共演以来、国内外でオーケストラと共演、リサイタルを行う傍ら、仏国営TV<A2>、NHK、NHK-BS、NHK-FM、音楽祭等にも出演。ソニー主催によるリサイタルでは絶賛され、「音楽の友」誌より年間ベスト1の公演に選ばれた。繊細な美しい音色と鋭い洞察力に基づく深い音楽表現に定評がある。愛知県立芸術大学教授。

武内 俊之（ピアノ）

幼少よりピアノを始め、東京藝大附属高、同音楽学部、同大学院をいずれも首席の成績で卒業、修了。第36回全日本学生音楽コンクール第1位、第63回日本音楽コンクール第1位ほか受賞歴多数。文化庁在外研修員としてカールスルーエ国立音楽大学大学院修了、ドイツ国家演奏家資格取得。これまでにソロ及びオーケストラとの協演を中心として、国内外で多くの演奏会や音楽祭に出演し、高い評価を受ける。福岡教育大学准教授等を経て、現在愛知県立芸術大学准教授として後進の指導にもあたる。

ブルックス信雄トーン（クラリネット）

米国のインターロックン芸術高等学校、ミシガン大学、デュポール大学大学院のクラリネット科とピアノ科を卒業、修了。その後桐朋オーケストラアカデミーに2年間在籍。元大阪フィルハーモニー交響楽団のクラリネット首席奏者。日本、アメリカ、ヨーロッパ、アジアで演奏者、教育家として活躍をしている。現在、愛知県立芸術大学准教授、相愛大学非常勤講師。

井上圭（トランペット）

熊本県出身。東京芸術大学卒業。ヤマハ新人演奏会出演。日本音楽コンクール入選。元名古屋フィルハーモニー交響楽団首席トランペット奏者。これまでにソリストとして名古屋フィルはじめ様々な団体とハイドン、アルチュニアン、トマジなどのコンチェルトを演奏する。現在、愛知県立芸術大学准教授、名古屋音楽大学、大垣女子短期大学各非常勤講師。